

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		教育総務課
	02	02	01	04	01	

政策
安全・安心に学べるより良い教育環境の整備

政策の内容

学校施設の安全・安心を確保するとともに新しい時代の学びを実現するため、教育環境の向上と老朽化対策の一体的な整備を推進します。
家庭・地域・関係機関などとの連携・協働により、登下校における安全確保やいじめ問題への適切な対応など、学校安全の推進を図ります。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
教育環境の充実	あなたの暮らしている地域では、教育環境が整っていると感じますか。	3.15	3.17				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

- ・「描く夢や未来の実現」を教育理念に掲げる第4次浜松市教育総合計画に基づき、目指すこどもの姿の具現に向け、学校・家庭、地域、行政が一体となり取組を進めている。
- ・ICT環境整備などの進展を踏まえた新しい時代の学びを実現するため、教育環境の向上と老朽化対策の一体的な整備を計画的に推進する必要がある。
- ・児童生徒の登下校時や校内における事件・事故、災害から守る環境を整えるため、家庭、地域、関係機関等との連携・協働による学校安全を推進する必要がある。
- ・こどもの数の減少を踏まえ、学校規模や地域等によって教育格差が生じないよう、教育環境の向上に取り組む必要がある。
- ・家庭事情に関わらず、均等に教育を受けることができるよう、支援の充実を図る必要がある。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	5,247,515				
決算	4,993,943				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	18.2				
会計年度任用職員	4.5				
暫定再任用職員(31時間勤務)	0.0				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.2				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
学校情報技術環境整備事業	1 ICT環境の整備 教育委員会と市立小中学校を結んだ浜松市教育ネットワークを利用し、学校向け各種システムの運用による事務の効率化を図り、ネットワーク環境を維持するために、浜松市教育ネットワークセンター及び通信回線の保守・管理を行う。また小中学校の教育情報機器等の整備を行う。	1,574,717
		1,537,836
小中学校学習者情報環境整備事業	1 学習者用タブレット型端末の更新・保守 市内小中学校で、児童生徒が利用する学習者用端末等の整備及び運用管理を行う。	912,737
		866,562
教育総合計画推進事業	1 「学校規模適正化基本方針」に基づく取組の推進 規模適正化対象校を訪問し、管理職と児童生徒数の推計や学校や学校の運営状況等について情報共有を図る。 学校運営協議会等を活用し、保護者や地域に対して児童生徒数の推移や今後の推計、学校規模適正化の取組を説明するとともに、懸念事項や課題等を聞き取りする。 学校運営上の課題や保護者・地域からの要望等を関係課で共有し、対象校の実情に応じた対応を検討、実施する。	12
		3
教育総務運営経費	1 県立浜松湖北高等学校佐久間分校生徒確保支援事業 中山間地域における質の高い教育や教育環境の確保を図るため、県立浜松湖北高等学校佐久間分校の生徒確保を支援する。 2 浜松市立中学校における「学校に着ていく服」のあり方検討 市立中学校における「学校に着ていく服」のあり方検討する委員会を設置し、機能性や多様性などの観点で有識者等の意見を聴取しながら、今後の「学校に着ていく服」のあり方や方向性について協議を行う。	12,336
		1,888
小学校運営事業 中学校運営事業	1 小中学校運営経費 市立小学校96校、市立中学校49校の運営を行う。	2,154,610
		2,016,729
小学校授業用教材教具導入事業 中学校授業用教材教具導入事業	1 教材教具の導入 市立小中学校の教育環境整備及び教師用教科書、指導書類の購入等を行う。	593,103
		570,925

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
児童生徒1人1 台の学習者用タ ブレット型端末充 足率(%)	児童生徒数に対する学 習者用タブレット型端末 の整備台数の割合	1人1台端末の整備は、新しい 時代の学びの実現に寄与する と見込んでいる。	目標値	-	100	100	100	100	100
			実績値	100	100				
			達成率	-	100%				
国が示す学校規 模別のネットワ ーク速度(推奨帯 域)が確保できて いる学校の割合 (%)	学校数に対する国が示 す学校規模別のネット ワーク速度(推奨帯域) が確保できている学校 数の割合 ※2025年度調査	ネットワーク速度(推奨帯域)の 整備は、新しい時代の学びの実 現に寄与すると見込んでいる。	目標値	-	55	70	100	100	100
			実績値	-	81				
			達成率	-	147%				
小規模校訪問の 実施率(%)	運営状況等の共有のた めに小規模校訪問を実 施した割合	学校との情報共有は学校規模 適正化の推進に寄与すると見 込んでいる。	目標値	-	100	100	100	100	100
			実績値	100	100				
			達成率	-	100%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
コンピュータなど のICT機器の活 用に関して、学校 内外において十 分に活用するサ ポートが受けら れていると回答し た学校の割合(%)	全国学力・学習状況調 査において肯定的な回 答をした学校の割合	新しい時代の学びの実現に向 け、ICT活用のサポート状況を 把握するものとして設定。教員 のICT活用指導力の向上につな がることを見込んでいる。	目標値	-	88.0	91.0	94.0	97.0	100.0
			実績値	84.6	66.9				
			達成率	-	76%				
教育環境の向上 に向けた保護者 等との意見交換 会の実施率(%)	学校訪問において意見 交換会の実施が必要と 判断した学校における実 施割合	学校規模の適正化に向け、保 護者や地域等との意見交換会 の実施を把握するものとして設 定。より良い教育環境の実現に つながることを見込んでいる。	目標値	-	100	100	100	100	100
			実績値	100	100				
			達成率	-	100%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
将来の夢や目標をもっている子供の割合(小学校6年生)(%)	○	全国学力・学習状況調査において肯定的な回答をした児童の割合	実績値	84.5	84.3					90.0
			達成率	94%	94%					
将来の夢や目標をもっている子供の割合(中学校3年生)(%)	○	全国学力・学習状況調査において肯定的な回答をした生徒の割合	実績値	69.1	71.8					74.0
			達成率	93%	97%					
今住んでいる地域(市町村)が好きな子供の割合(小学校6年生・中学校3年生・高校2年生)(%)	○	教育委員会調査において肯定的な回答をした児童生徒の割合	実績値	93.8	2026年 8月確定					維持
			達成率	100%	-					

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

・こどもたちは、自分らしさを大切に、描く夢や未来の実現に向けて、互いを尊重し合い、他者と協働したり、自己調整したりしながら粘り強く取り組んでいる。
・学校、家庭、地域、企業など社会全体が連携して一人ひとりのこどもを育み、こどもたちは地域への愛着や誇りを持っている。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
学校情報技術環境整備事業	1 ICT環境の整備 学校における教職員の円滑な事務執行と校務の効率化及びICTを活用した学習活動の推進を図るために、統合型校務支援システムや情報機器、教育ネットワーク等の整備・運用保守を行い、学校ICT環境の維持管理を行った。	学校向け各種システム、浜松市教育ネットワーク、教育情報機器等を良好に維持するため、必要に応じて環境の改善を進める。
小中学校学習者情報環境整備事業	1 学習者用タブレット型端末の更新・保守 国の示す「GIGAスクール構想」の実現に向け、1人1台の学習者用タブレット型端末及び学習アプリケーションの運用管理を行った。また、1人1台の学習者用タブレット型端末の更新を行った。	1人1台の学習者用タブレット型端末や学習アプリケーションの運用管理を行う。
教育総合計画推進事業	1 「浜松市学校規模適正化基本方針」に基づく取組の推進 望ましい学校規模から外れる学校を訪問し、児童生徒の様子や学校の運営状況等について情報共有を図るとともに、必要に応じて保護者等との意見交換を実施した。 水窪地区小中一貫校設置検討会を8回開催し、小中一貫校の設置類型や呼称・校名などについて協議を行った。 春野地区3校PTAとともに、幼小中一貫校設置検討に向けた協議を行った。	引き続き学校や地域と連携を図りながら、子供たちのより良い教育環境づくりに向けて取り組んでいく。
教育総務運営経費	1 県立浜松湖北高等学校佐久間分校生徒確保支援事業 「地域みらい留学プラットフォーム」へ参画し、Webでの情報発信や進学イベントにてブースを出展するなど、県外からの生徒確保に向けてPR活動を行った。 高校進学フェス(大阪):ブース対応組数17組 高校進学フェス(東京):ブース対応組数:31組 高校進学フェスinオンライン(グループH)で説明:参加者17名 2 浜松市立中学校における「学校に着ていく服」のあり方検討 市立中学校における「学校に着ていく服」のあり方検討委員会を開催し、「学校に着ていく服」の考え方(定義、理念・基本的な方向性)を取りまとめた。	地域外からの生徒確保に向けて、取り組みを継続していく。 「学校に着ていく服」についての考え方について、関係者へ周知を図る。
小学校運営事業 中学校運営事業	1 小中学校運営経費 学校の適切な維持管理及び教育活動の円滑な運営を図るため、管理運営上必要な光熱水費、管理用消耗品、事務機器借上料、備品購入等の経費を執行した。	経費執行における支払い事務等の効率化を図るため、引き続き、業務プロセスの見直しを行う。また、電気料等の価格変動リスクに対しては、状況を注視しながら対応していく。
小学校授業用教材教具導入事業 中学校授業用教材教具導入事業	1 教材教具の導入 授業用教材教具の充実を図るため、学校の要求に即した備品等の購入、国庫補助による理科・算数教材の整備、学級増に伴う教師用教科書指導書、机・椅子等の購入等を行った。また、学校図書館図書標準の達成を目指し図書の購入を行った。	限られた予算でより良い教育活動が行えるよう、関係課及び学校と連携し、必要な物品を適正に供給していく。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

各事業の進捗は概ね順調であったが、アウトカム指標「コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校内外において十分に活用するサポートが受けられていると回答した学校の割合」について、目標を達成できなかった。統合型校務支援システムの導入による一時的な業務量の増加や不慣れ感などが影響していると考えられ、引き続き学校や教職員に対して丁寧なサポートを行っていく。 また、県立浜松湖北高等学校佐久間分校の生徒確保については、引き続き関係部局と連携し取り組んでいく。

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		教育施設課
	02	02	01	04	02	

政策
安全・安心に学べるより良い教育環境の整備

政策の内容

学校施設の安全・安心を確保するとともに新しい時代の学びを実現するため、教育環境の向上と老朽化対策の一体的な整備を推進します。
家庭・地域・関係機関などとの連携・協働により、登下校における安全確保やいじめ問題への適切な対応など、学校安全の推進を図ります。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
教育環境の充実	あなたの暮らしている地域では、教育環境が整っていると感じますか。	3.15	3.17				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

- ・「描く夢や未来の実現」を教育理念に掲げる第4次浜松市教育総合計画に基づき、目指すこどもの姿の具現に向け、学校・家庭、地域、行政が一体となり取組を進めている。
- ・ICT環境整備などの進展を踏まえた新しい時代の学びを実現するため、教育環境の向上と老朽化対策の一体的な整備を計画的に推進する必要がある。
- ・児童生徒の登下校時や校内における事件・事故、災害から守る環境を整えるため、家庭、地域、関係機関等との連携・協働による学校安全を推進する必要がある。
- ・こどもの数の減少を踏まえ、学校規模や地域等によって教育格差が生じないよう、教育環境の向上に取り組む必要がある。
- ・家庭事情に関わらず、均等に教育を受けることができるよう、支援の充実を図る必要がある。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	4,412,519				
決算	5,269,443				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	15.0				
会計年度任用職員	5.0				
暫定再任用職員(31時間勤務)	1.0				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
小中学校建設事業	1 学校施設の長寿命化 小中学校施設整備適正化方針及び同計画に基づき、未来の学校施設のカタチの実現に向け、教育環境の向上と老朽化対策を併せて進め、安全で快適な学校施設を提供する。 2 普通教室の照明LED化 国のエネルギー基本計画や市の地球温暖化対策実行計画に基づき、普通教室の照明設備LED化を進め、地球温暖化・環境問題への対策と児童生徒の学習環境の向上を図る。	2,043,796
		2,860,035
小中学校管理委託事業	1 学校管理 小中学校施設の保守点検等の設備維持管理を行う。	251,497
		238,908
小中学校用地借上事業	1 学校用地の借上げ 小中学校用地の借上げを行う。	92,360
		92,357
小中学校施設整備事業	1 特別教室空調設備整備の推進 小中学校の特別教室に空調設備を整備し、児童生徒の学習環境の向上を図る。	2,024,866
		2,078,143

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
学校施設長寿命化の実績(校)	計画に基づいて改築・大規模改修工事等を実施した学校数 ※2025年度から計画開始	小中学校施設整備適正化方針及び同計画に沿った施設の長寿命化の推進は、安全・安心に学べる教育環境に寄与するものと見込んでいる。	目標値	-	17	7	7	2	7
			実績値	-	7				
			達成率	-	41%				
普通教室LED化の実績(校)	計画に基づいて普通教室の照明設備をLEDに更新した学校数 ※2025年度から調査開始	普通教室の照明LED化は、安全・安心に学べる教育環境に寄与するものと見込んでいる。	目標値	-	調査実施	調査実施	19	22	21
			実績値	-	調査実施				
			達成率	-	実施済				
学校空調の整備実績(校)	特別教室にPFI事業として空調整備を実施した学校数	特別教室への空調整備は、安全・安心に学べる教育環境に寄与するものと見込んでいる。	目標値	-	26	103	完了	完了	完了
			実績値	-	26				
			達成率	-	100%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
学校は勉強したり運動したりするのに適した道具が整っていたり、過ごしやすい施設になっていたりと回答した児童生徒の割合(%)	教育委員会調査において、肯定的な回答をした児童生徒の割合	安全・安心に学べる環境に向け、児童生徒の意識を把握するものとして設定。学校施設として継続的に良好な環境の提供につながることを見込んでいる。	目標値	-	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
			実績値	90.0	2026年8月確定				
			達成率	-	-				
			目標値						
			実績値						
			達成率						

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
将来の夢や目標をもっている子供の割合(小学校6年生)(%)	○	全国学力・学習状況調査において肯定的な回答をした児童の割合	実績値	84.5	84.3					90.0
			達成率	94%	94%					
将来の夢や目標をもっている子供の割合(中学校3年生)(%)	○	全国学力・学習状況調査において肯定的な回答をした生徒の割合	実績値	69.1	71.8					74.0
			達成率	93%	97%					
今住んでいる地域(市町村)が好きな子供の割合(小学校6年生・中学校3年生・高校2年生)(%)	○	教育委員会調査において肯定的な回答をした児童生徒の割合	実績値	93.8	2026年 8月確定					維持
			達成率	100%	-					

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

・こどもたちは、自分らしさを大切に、描く夢や未来の実現に向けて、互いを尊重し合い、他者と協働したり、自己調整したりしながら粘り強く取り組んでいる。
 ・学校、家庭、地域、企業など社会全体が連携して一人ひとりのこどもを育み、こどもたちは地域への愛着や誇りを持っている。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
小中学校建設事業	1 学校施設の長寿命化 小中学校施設整備計画に基づき、11校(小学校7校、中学校4校)の設計に着手するとともに、7校(小学校7校)の工事を実施した。 2 普通教室の照明LED化 中学校18校の特別活動室・武道場等へのLED化工事を実施するとともに、小中学校施設照明設備調査を実施した。	長寿命化工事については、国庫補助金の不採択のため、1年先送りとなったが2026年度で当初計画通りとなる見込みである。LED化については、工事・調査ともに計画通り進捗している。
小中学校管理委託事業	1 学校管理 小中学校施設の維持管理に必要な設備保守点検、樹木管理等の業務を実施した。	計画通り進捗しており、引き続き必要な管理業務を実施する。
小中学校用地借上事業	1 学校用地の借上げ 小学校22校、中学校4校の用地借上げに要する経費を執行した。	引き続き地権者との交渉を重ね、借地の解消もしくは借地料の減額に取り組んでいく。
小中学校施設整備事業	1 特別教室空調設備整備の推進 26校(小学校8校、中学校18校)の特別教室に空調設備を整備した。	計画通り整備が進んでいる。2026年度ですべての特別教室への空調整備が完了する予定である。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

全国的な国庫補助採択率の低下の影響を受け、学校施設長寿命化計画に基づく改築・大規模改修工事等の実施に一部遅れが生じているが、不採択となった事業については、2026年度で採択される見通しであり、目標値への到達を見込んでいる。 普通教室のLED化については、当初の計画通り調査が進めており、調査完了後から計画的に工事に着手する予定である。 特別教室への空調整備は、PFI事業により当初の予定通り整備が進んでいる。2026年度にはすべての特別教室への空調整備が完了する予定である。
--

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		指導課
	02	02	01	04	03	

政策
安全・安心に学べるより良い教育環境の整備

政策の内容

学校施設の安全・安心を確保するとともに新しい時代の学びを実現するため、教育環境の向上と老朽化対策の一体的な整備を推進します。
家庭・地域・関係機関などとの連携・協働により、登下校における安全確保やいじめ問題への適切な対応など、学校安全の推進を図ります。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
教育環境の充実	あなたの暮らしている地域では、教育環境が整っていると感じますか。	3.15	3.17				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

- ・「描く夢や未来の実現」を教育理念に掲げる第4次浜松市教育総合計画に基づき、目指すこどもの姿の具現に向け、学校・家庭、地域、行政が一体となり取組を進めている。
- ・ICT環境整備などの進展を踏まえた新しい時代の学びを実現するため、教育環境の向上と老朽化対策の一体的な整備を計画的に推進する必要がある。
- ・児童生徒の登下校時や校内における事件・事故、災害から守る環境を整えるため、家庭、地域、関係機関等との連携・協働による学校安全を推進する必要がある。
- ・こどもの数の減少を踏まえ、学校規模や地域等によって教育格差が生じないよう、教育環境の向上に取り組む必要がある。
- ・家庭事情に関わらず、均等に教育を受けることができるよう、支援の充実を図る必要がある。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	246,715				
決算	244,696				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	9.2				
会計年度任用職員	2.0				
暫定再任用職員(31時間勤務)	1.0				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
生徒指導推進事業	1 「浜松市いじめの防止等のための基本的な方針(改定版)」の徹底 「浜松市いじめの防止等のための基本的な方針(改定版)」の周知及び「学校いじめ防止基本方針」改定への指導助言を行う。	20,293
	2 「はままついじめアンケート」の実施 いじめ等に関するアンケートを定期的に実施して、リスクレベルの高い児童生徒を把握し、いじめを早期に発見することで、いじめの早期対応につなげる。 3 学校ネットパトロールの実施 インターネット上に潜む危険から子供たちを守るため、学校非公式サイトや個人プロフィールサイト、SNS等における子供たちの書き込みについて現状把握を行うと共に、インターネット上から発生し得るいじめを中心とした問題行動対策に役立てる。	18,433
かわな野外活動センター管理運営事業	自然の中での共同生活を通じて、青少年の健全な育成と市民の健康増進を図るため、かわな野外活動センターの管理運営及び施設整備を行う。	226,422
		226,263

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
学校いじめ防止 基本方針等の点 検と改定の推奨 及び、いじめ問題 への取組総点検 の実施率 (%)	指導主事による学校訪 問の実施及び、学校の 取組に関する内容点検 の実施率	見直しや振り返りを行うことにより、いじめ問題に関する取組に係るPDCAサイクルの構築に寄与するものと見込んでいる。	目標値	-	100	100	100	100	100
			実績値	100	2026年 8月確定				
			達成率	-	-				
はままついじめア ンケートの実施 (回)	各小中学校におけるア ンケートの実施(年2回 以上)	アンケートを定期的な実施により、いじめの早期発見、早期対応に寄与するものと見込んでいる。	目標値	-	年2回 以上	年2回 以上	年2回 以上	年2回 以上	年2回 以上
			実績値	年2回 以上	年2回 以上				
			達成率	-	100%				
学校ネットパト ロールの実施 (回)	学校ネットパトロールの 実施(小学校:年2回、中 学校:年3回)	SNS等における子供たちの書き込みについて現状把握を行うことにより、いじめを中心とした問題行動対策に寄与するものと見込んでいる。	目標値	-	小:年2回 中:年3回	小:年2回 中:年3回	小:年2回 中:年3回	小:年2回 中:年3回	小:年2回 中:年3回
			実績値	小:年2回 中:年3回	小:年2回 中:年3回				
			達成率	-	100%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
いじめの問題に 対して、外部人 材と情報共有を したり、協働し たりして対応にあ たることができ たと回答した学 校の割合(%)	教育委員会調査におい て肯定的な回答をした学 校の割合	いじめ問題に対する外部専門 家との連携について把握する ものとして設定。専門家へ意 見を求めたりすることで、学 校による組織的な対応につな がることを見込んでいる。	目標値	-	93.0	95.0	97.0	98.0	100.0
			実績値	91.0	2026年 8月確定				
			達成率	-	-				
いじめ防止対策 推進法に 対応を理解し、そ れに沿って行動 していると回答 した教職員の割 合(%)	教育委員会調査におい て肯定的な回答をした教 職員の割合	法に基づいた対応を把握する ために設定。法を理解し、い じめの早期発見・早期対応 につながることを見込んでいる。	目標値	-	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
			実績値	99.5	2026年 8月確定				
			達成率	-	-				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
将来の夢や目標をもっている子供の割合(小学校6年生)(%)	○	全国学力・学習状況調査において肯定的な回答をした児童の割合	実績値	84.5	84.3					90.0
			達成率	94%	94%					
将来の夢や目標をもっている子供の割合(中学校3年生)(%)	○	全国学力・学習状況調査において肯定的な回答をした生徒の割合	実績値	69.1	71.8					74.0
			達成率	93%	97%					
今住んでいる地域(市町村)が好きな子供の割合(小学校6年生・中学校3年生・高校2年生)(%)	○	教育委員会調査において肯定的な回答をした児童生徒の割合	実績値	93.8	2026年 8月確定					維持
			達成率	100%	-					

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

・こどもたちは、自分らしさを大切に、描く夢や未来の実現に向けて、互いを尊重し合い、他者と協働したり、自己調整したりしながら粘り強く取り組んでいる。
・学校、家庭、地域、企業など社会全体が連携して一人ひとりのこどもを育み、こどもたちは地域への愛着や誇りを持っている。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
生徒指導推進事業	1 「浜松市いじめの防止等のための基本的な方針(改定版)」の徹底 児童生徒のいじめ問題等の未然防止や早期発見・早期対応のため、年1回小中学校を訪問し、指導・助言を行った。 2 「はまついいじめアンケート」の実施 タブレット型端末を活用したアンケートを各学校年2回以上実施した。記述式では上手く表現できず確認しにくかったいじめを、早期に発見できるようになっている。 3 学校ネットパトロールの実施 ネットパトロール調査を小学校年2回、中学校年3回行った。インターネット上の不適切な書き込みや画像の投稿を発見し、削除等の対応をした。	ネットパトロール、タブレット型端末を活用したアンケートは児童生徒のいじめ問題等の未然防止、早期発見・早期対応に有効なため、引き続き実施していく。
かなな野外活動センター管理運営事業	【維持管理事業】 自然の中での共同生活を通じて青少年の健全な育成を図るとともに、市民の健康の増進を図るため、かなな野外活動センターの維持管理を行った。 ・指定管理による自然体験活動の実施及び施設の維持管理 指定管理者：公益財団法人浜松市スポーツ協会（指定管理期間：2025年度～2029年度） 施設の利用状況：舎営施設-15,534人、野営施設-178人、日帰り-2,799人 自主事業：かななオープンデー、里山体験、家族ふれあいデー、ネイチャーワールド 等 【施設整備事業】 かなな野外活動センター施設の維持及び安全を保つため、施設整備を行った。 給水設備等更新工事、汚水処理施設2号機修繕工事、自動火災報知設備煙感知器取替及び避雷器設置工事 ほか	かなな野外活動センター施設の維持及び安全を保つため、計画的に施設整備を行っていく。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

いじめ問題等の未然防止、早期発見、早期対応の取組、かわな野外活動センターの管理運営事業については、取組や事業、指標の進捗は概ね順調であった。 タブレット型端末によるいじめアンケートは、紙によるものよりも伝えやすく、いじめの早期発見、早期対応につながっているため、今後も継続して行っていく。 かわな野外活動センターは、指定管理により施設の管理運営を継続していく。施設の老朽化に対応するために、施設の維持管理を計画的に実施していく。

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		健康安全課
	02	02	01	04	04	

政策
安全・安心に学べるより良い教育環境の整備

政策の内容

学校施設の安全・安心を確保するとともに新しい時代の学びを実現するため、教育環境の向上と老朽化対策の一体的な整備を推進します。
家庭・地域・関係機関などとの連携・協働により、登下校における安全確保やいじめ問題への適切な対応など、学校安全の推進を図ります。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
教育環境の充実	あなたの暮らしている地域では、教育環境が整っていると感じますか。	3.15	3.17				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

- ・「描く夢や未来の実現」を教育理念に掲げる第4次浜松市教育総合計画に基づき、目指すこどもの姿の具現に向け、学校・家庭、地域、行政が一体となり取組を進めている。
- ・ICT環境整備などの進展を踏まえた新しい時代の学びを実現するため、教育環境の向上と老朽化対策の一体的な整備を計画的に推進する必要がある。
- ・児童生徒の登下校時や校内における事件・事故、災害から守る環境を整えるため、家庭、地域、関係機関等との連携・協働による学校安全を推進する必要がある。
- ・こどもの数の減少を踏まえ、学校規模や地域等によって教育格差が生じないよう、教育環境の向上に取り組む必要がある。
- ・家庭事情に関わらず、均等に教育を受けることができるよう、支援の充実を図る必要がある。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	2,222,807				
決算	2,116,268				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	8.7				
会計年度任用職員	3.8				
暫定再任用職員(31時間勤務)	1.0				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
学校安全事業	1 災害時・緊急時における連絡体制の整備 災害時・緊急時における連絡手段のデジタル化を推進する。	32,588
	2 学校安全に関する組織的取組の推進 ・学校安全の3領域(生活安全・交通安全・災害安全)の充実に向けた学校安全担当の設置と支援を行う。 ・養護教諭補助員の配置及び研修を実施する。	
	3 迅速な一次救命処置に向けての校内体制の構築 緊急時における校内体制構築への支援を行う。	
	4 通学路の安全確保に向けた関係機関との連携 学区内及び指定通学路の安全確保を促進する。	31,705
	5 防犯の専門家による子どもの安全に向けた体制の整備 登下校中の見守り活動を推進する。	
	6 地域社会全体で学校安全に取り組む体制の整備 地域一体での見守り活動を実施する。	
	7 防災教育・防災管理に関する課題解決への支援 危機管理マニュアル(災害安全編)見直しへの指導、助言を行う。	
・小学校給食事業 ・中学校給食事業 ・学校給食センター管理運営事業	1 アレルギー疾患対策の推進 ・食物アレルギー疾患対策に向けた学校への支援を行う。	2,190,219
	2 安全安心な食材提供に資する地場産物の活用促進 ・学校給食における地場産物の活用を行う。	2,084,563
	3 学校給食衛生管理基準に基づく施設・設備等の適切な維持管理 ・調理場の適切な維持管理を行う。	

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
学校安全担当の 設置及び研修の 実施(校)	学校安全担当を設置し、 校内研修を実施した学 校数の実績 ※2025年度設置開始、 2026年度校内研修支援 開始	安全担当の設置は、学校管理 下における事故の防止に寄与 するものと見込んでいる。	目標値	-	143	143	143	143	143
			実績値	-	104				
			達成率	-	73%				
スクールガード・ リーダーによる見 守り活動の実施 (校)	スクールガード・リーダ ーが配置されている小学 校数 (2025年度:95校)	防犯の専門家や地域等と連携 した見守り活動により、登下校 中の事故防止に寄与するものと 見込んでいる	目標値	-	95	95	95	95	95
			実績値	93	93				
			達成率	-	98%				
「ながら見守り」 活動の実施及び 地域への募集促 進(校)	「ながら見守り」活動ボラ ンティアが活動している 学校数(2025年度:143校)	防犯の専門家や地域等と連携 した見守り活動により、登下校 中の事故防止に寄与するものと 見込んでいる	目標値	-	143	143	143	143	143
			実績値	144	137				
			達成率	-	96%				
調理場における 施設・設備点検 の実施(施設数)	全て(111施設)の調理場 における施設・設備点検 の実施(単独・共同)	施設・設備の点検により、異物 混入の防止に寄与すると見込 んでいる。	目標値	-	111	111	111	111	111
			実績値	111	111				
			達成率	-	100%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
学校管理下にお ける事故発生率 (%)	教育委員会調査におけ る学校管理下での事故 発生件数	安全・安心に学べる教育環境に 向け、学校管理下における事故 発生率を把握するものとして設 定。監視していくことにより学校 安全の推進に寄与するものと見 込んでいる。	目標値	-	前年比減	前年比減	前年比減	前年比減	前年比減
			実績値	7.6	2026年 8月確 定				
			達成率	-	-				
自分たちの安全 を守ってくれてい る人や場所があ ることを知ってい ると回答した児童 生徒の割合(%)	教育委員会調査におい て肯定的な回答をして児 童生徒の割合 ※2025年度から調査開 始。調査結果を踏まえて 目標値を設定予定。	安全・安心に学べる教育環境に 向け、児童生徒の意識を把握す るものとして設定。監視していく ことにより学校安全の推進に寄 与するものと見込んでいる。	目標値	-					
			実績値	-	2026年 8月確 定				
			達成率	-	-				
異物混入報告書 件数(件数) ※給食用備品・ 消耗品に係るも の	異物混入マニュアルに 基づき学校等から提出さ れた異物混入報告書の 件数(給食用備品・消耗 品に係るもの)	調理場の適切な維持管理に向 け、給食への異物混入を把握す るものとして設定。監視していく ことにより安心・安全な給食の 提供に寄与するものと見込んで いる。	目標値	-	前年比減	前年比減	前年比減	前年比減	前年比減
			実績値	36	35				
			達成率	-	100%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
将来の夢や目標をもっている子供の割合(小学校6年生)(%)	○	全国学力・学習状況調査において肯定的な回答をした児童の割合	実績値	84.5	84.3					90.0
			達成率	94%	94%					
将来の夢や目標をもっている子供の割合(中学校3年生)(%)	○	全国学力・学習状況調査において肯定的な回答をした生徒の割合	実績値	69.1	71.8					74.0
			達成率	93%	97%					
今住んでいる地域(市町村)が好きな子供の割合(小学校6年生・中学校3年生・高校2年生)(%)	○	教育委員会調査において肯定的な回答をした児童生徒の割合	実績値	93.8	2026年 8月確定					維持
			達成率	100%	-					

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

・こどもたちは、自分らしさを大切に、描く夢や未来の実現に向けて、互いを尊重し合い、他者と協働したり、自己調整したりしながら粘り強く取り組んでいる。
・学校、家庭、地域、企業など社会全体が連携して一人ひとりのこどもを育み、こどもたちは地域への愛着や誇りを持っている。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
学校安全事業	1 災害時・緊急時における連絡体制の整備 小中学校等連絡アプリ「さくら連絡網」の多言語対応を開始し登録の促進に努めた。 また、カムチャツカ半島付近での地震に伴う津波警報を受け、災害時や緊急時における連絡手段の重要性を周知した。 2 学校安全に関する組織的取組の推進 令和7年度から、校務分掌に「学校安全担当」を位置付けるとともに、学校安全担当研修を浜松市教職員研修計画に位置付けた。 また、学校安全に関する校内研修を実施できるよう動画を作成し支援した。 3 迅速な一次救命処置に向けての校内体制の構築 児童生徒や教職員の命を守るとともに、緊急時の救急体制を整えておくため、市内109校で普通救命講習を実施した。普通救命講習の取得率は95%であった。 4 通学路の安全確保に向けた関係機関との連携 各学校の通学路整備要望138箇所について、道路管理者など関係機関との連携・調整を進め、安全対策の一層の推進を図った。 また、「浜松市通学路等交通安全プログラム」について、策定 から10年以上が経過し、時代の変化とともに、子供を取り巻く環境や社会情勢、道路事情等が変化したことから一部改正を行った。 5 防犯の専門家による子どもの安全に向けた体制の整備 スクールガード・リーダー19名により各地域における見守り活動を1,566回実施した。 6 地域社会全体で学校安全に取り組む体制の整備 関係者への周知等を行ったことで、活動への登録者は2,364人となり、学校安全体制の拡充を図ることができた。 7 防災教育・防災管理に関する課題解決への支援 年2回防災対策プロジェクト会議を行い、遠地津波による津波警報及び避難指示発令時の今後の対応について、危機管理マニュアル(災害安全編)を見直した。	引き続き学校安全事業の充実や、学校安全に関する施策の総合的かつ効果的な推進を図る。
・ 小学校給食事業 ・ 中学校給食事業 ・ 学校給食センター管理運営事業	1 アレルギー疾患対策の推進 栄養教諭等を対象とした研修会を3回(4・7・12月)及び養護教諭を対象とした研修会を3回(6・10・2月)実施した。 また、食物アレルギー発症件数、献立作成時及び喫食時の留意点を周知し、アレルギー事故予防に向けた意識啓発と理解促進を図った。 2 安全安心な食材提供に資する地場産物の活用促進 学校給食従事者研修会(4月)等で活用を促すとともに、献立作成委員会等で活用促進に向けての検討を進めた。 また、地場産物を活用した献立を「浜松パワーフード給食」として月1回程度実施し、児童生徒や保護者に向け周知した。合併記念給食(10月)において、地域で収穫された食材や、地域にゆかりのある食材を使用した特別献立を作成し、児童生徒等へ提供した。地場産物の使用率は35.2%であった。 3 学校給食衛生管理基準に基づく施設・設備等の適切な維持管理 給食調理場の施設点検を定期的に行い、衛生管理体制の適切な確保を推進した。 また、7・8月に全ての給食場で学校給食用備品・消耗品の総点検を行い、点検結果に基づく備品・消耗品の更新につなげるとともに異物混入等の未然防止対策を強化した。	引き続きアレルギー疾患対策や地場産物の活用、施設・設備等の適切な維持管理を実施し、安心・安全でおいしい学校給食を提供する。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

学校安全事業については事業や指標の進捗は概ね順調であった。引き続き事業改善の内容や今後の方向性を踏まえて事業を継続し、学校の危機管理が緊急時に有効に機能するよう適切な対応を推進していく。 小学校給食事業、中学校給食事業及び学校給食センター管理運営事業についても事業や指標の進捗は概ね順調であった。引き続き事業改善の内容や今後の方向性を踏まえて事業を継続し、安全・安心でおいしい給食を提供していく。
--

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		教育支援課
	02	02	01	04	05	

政策
安全・安心に学べるより良い教育環境の整備

政策の内容

学校施設の安全・安心を確保するとともに新しい時代の学びを実現するため、教育環境の向上と老朽化対策の一体的な整備を推進します。
家庭・地域・関係機関などとの連携・協働により、登下校における安全確保やいじめ問題への適切な対応など、学校安全の推進を図ります。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
教育環境の充実	あなたの暮らしている地域では、教育環境が整っていると感じますか。	3.15	3.17				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

- ・「描く夢や未来の実現」を教育理念に掲げる第4次浜松市教育総合計画に基づき、目指すこどもの姿の具現に向け、学校・家庭、地域、行政が一体となり取組を進めている。
- ・ICT環境整備などの進展を踏まえた新しい時代の学びを実現するため、教育環境の向上と老朽化対策の一体的な整備を計画的に推進する必要がある。
- ・児童生徒の登下校時や校内における事件・事故、災害から守る環境を整えるため、家庭、地域、関係機関等との連携・協働による学校安全を推進する必要がある。
- ・こどもの数の減少を踏まえ、学校規模や地域等によって教育格差が生じないよう、教育環境の向上に取り組む必要がある。
- ・家庭事情に関わらず、均等に教育を受けることができるよう、支援の充実を図る必要がある。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	934,297				
決算	891,109				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	3.5				
会計年度任用職員	0.8				
暫定再任用職員(31時間勤務)	0.0				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
通園・通学バス 運行事業	1 通園・通学バス運行事業 学校の統廃合に伴い、遠距離通学対象地域となり、公共交通期間が利用できない園児・児童・生徒に対して通園・通学バス等の運行により通学支援を行う。	272,595
		238,576
小中学校発達支 援教育就学奨励 事業	1 発達支援教育就学奨励事業 発達支援学級または通級指導教室に通う児童の保護者の経済的負担を軽減するための国基準に基づく就学にかかる費用の一部を支給する。	72,932
		73,648
小中学校就学援 助事業	1 就学援助事業 経済的理由により就学困難と認められる公立小学校児童の保護者に対する国基準に基づく就学にかかる費用の一部を支給する。	505,720
		512,486
小中学校遠距離 通学費援助事業	1 遠距離通学費援助事業 学校の統廃合等に伴い、遠距離通学となった児童に対して定期券の支給などによる通学支援の実施する。	3,050
		2,159
育英事業	1 奨学金事業 経済的理由のため、就学困難な学生に学資を貸与することにより優秀な人材の育成を目的とし浜松市民の子で学業成績優秀な大学生等へ月額45,000円を上限として奨学金を無利子貸与する。	80,000
		64,240

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
通園・通学バス等の運行による通学支援の実施率(%)	通学支援対象地域の児童生徒への支援実施率	通園・通学バス等の運行により、遠距離通学の負担軽減に寄与するものと見込んでいる。	目標値	-	100	100	100	100	100
			実績値	100	100				
			達成率	-	100%				
経済的支援を必要とする家庭への就学に必要な費用の一部援助実施率(%)	要支援者に対する支援の実施率	就学援助の実施により、保護者の経済的負担の軽減に寄与するものと見込んでいる。	目標値	-	100	100	100	100	100
			実績値	100	100				
			達成率	-	100%				
奨学金の貸与率(%)	経済的理由等により修学が困難な学生に対する奨学金の貸与率	奨学金の貸与により、高等教育修学に寄与するものと見込んでいる。	目標値	-	100	100	100	100	100
			実績値	68	87				
			達成率	-	87%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
通学支援対象地域における対象児童生徒への支援実施率(%)	通学支援対象地域の児童生徒への支援実施率	遠距離通学となっている児童生徒の支援状況を把握するものとして設定。通園・通学バス等の運行により、通園・経済的理由により通園・通学の負担軽減につながると見込んでいる。	目標値	-	100	100	100	100	100
			実績値	100	100				
			達成率	-	100%				
就学援助申請に対する補助充足率(%)	要支援者に対する支援の実施率	就学援助の充足を把握するものとして設定。支給により就学が困難と認められる児童生徒の保護者の負担を軽減につながると見込んでいる。	目標値	-	100	100	100	100	100
			実績値	100	100				
			達成率	-	100%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
将来の夢や目標をもっている子供の割合(小学校6年生)(%)	○	全国学力・学習状況調査において肯定的な回答をした児童の割合	実績値	84.5	84.3					90.0
			達成率	94%	94%					
将来の夢や目標をもっている子供の割合(中学校3年生)(%)	○	全国学力・学習状況調査において肯定的な回答をした生徒の割合	実績値	69.1	71.8					74.0
			達成率	93%	97%					
今住んでいる地域(市町村)が好きな子供の割合(小学校6年生・中学校3年生・高校2年生)(%)	○	教育委員会調査において肯定的な回答をした児童生徒の割合	実績値	93.8	2026年 8月確定					維持
			達成率	100%	-					

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

・こどもたちは、自分らしさを大切に、描く夢や未来の実現に向けて、互いを尊重し合い、他者と協働したり、自己調整したりしながら粘り強く取り組んでいる。
・学校、家庭、地域、企業など社会全体が連携して一人ひとりのこどもを育み、こどもたちは地域への愛着や誇りを持っている。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
通園・通学バス運行事業	1 通園・通学バス運行事業 学校・幼稚園の統合等に伴い、遠距離通園・通学となる児童・生徒・園児の登下校、登降園に係る通園・通学バス運行(51路線)を実施した。また、教育活動の一環として実施される校外学習について、移動手段確保のためのバス運行(活動回数341回)を実施した。	引き続き通園・通学バス運行事業を実施し、遠距離通園・通学となった児童・生徒・園児の登下校・登降園手段の確保に努める。
小中学校発達支援教育就学奨励事業	1 発達支援教育就学奨励事業 発達支援学級に在籍している児童生徒等のうち、1,698人(小学校1,129人、中学校569人)に対し学用品の購入費や給食費等の援助に要する経費を執行した。	引き続き小中学校発達支援教育就学奨励事業を実施し、発達支援学級に在籍している児童生徒等の就学に係る費用の支援を推進する。
小中学校就学援助事業	1 就学援助事業 経済的理由により就学困難な要保護、準要保護児童生徒5,280人(小学校3,247人、中学校2,033人)に対し新入学学用品の購入費や給食費、修学旅行費等の援助に要する経費を執行した。また、718人(小学校117人、中学校601人)に対して入学前支給を実施し、新入学学用品購入費に要する経費を執行した。	引き続き小中学校就学援助事業を実施し、要保護、準要保護児童生徒の就学に係る費用の支援を推進する。
小中学校遠距離通学費援助事業	1 遠距離通学費援助事業 小中学校の統合などに伴い、遠距離通学となった児童・生徒60人(小学校:51人、中学校9人)に対し通学費の援助に要する経費を執行した。	引き続き小中学校遠距離通学費援助事業を実施し、遠距離通学となった児童・生徒の通学に係る費用の支援を推進する。
育英事業	1 奨学金事業 経済的理由等により修学が困難な学生123人(新規:37人、継続:86人)に対し、奨学金の貸与を行った。	引き続き育英事業を実施し、経済的理由により修学が困難な学生への支援を推進する。また多子世帯等に対し所得基準の見直しを行うなど、世帯構成や個々の事情を考慮した支援の推進を図る。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否
----------	---

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

家庭事情や居住環境に関わらず、均等に教育を受けることが出来るよう各事業を推進し、指標の進捗は順調であった。育英事業については、多子世帯等に対し所得基準の見直しを行うなど、世帯構成や個々の事情を考慮した支援の推進を図っていく。

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		市立高校
	02	02	01	04	06	

政策
安全・安心に学べるより良い教育環境の整備

政策の内容

学校施設の安全・安心を確保するとともに新しい時代の学びを実現するため、教育環境の向上と老朽化対策の一体的な整備を推進します。
家庭・地域・関係機関などとの連携・協働により、登下校における安全確保やいじめ問題への適切な対応など、学校安全の推進を図ります。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
教育環境の充実	あなたの暮らしている地域では、教育環境が整っていると感じますか。	3.15	3.17				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

- ・「描く夢や未来の実現」を教育理念に掲げる第4次浜松市教育総合計画に基づき、目指すこどもの姿の具現に向け、学校・家庭、地域、行政が一体となり取組を進めている。
- ・ICT環境整備などの進展を踏まえた新しい時代の学びを実現するため、教育環境の向上と老朽化対策の一体的な整備を計画的に推進する必要がある。
- ・児童生徒の登下校時や校内における事件・事故、災害から守る環境を整えるため、家庭、地域、関係機関等との連携・協働による学校安全を推進する必要がある。
- ・こどもの数の減少を踏まえ、学校規模や地域等によって教育格差が生じないよう、教育環境の向上に取り組む必要がある。
- ・家庭事情に関わらず、均等に教育を受けることができるよう、支援の充実を図る必要がある。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	241,388				
決算	234,590				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	3.3				
会計年度任用職員	0.7				
暫定再任用職員(31時間勤務)	1.0				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
市立高校教育事業	1 学校安全の推進 学校安全に関する校内体制を整備する。 地域と連携した交通安全体制を整備する。	0
		0
市立高校管理デジタル運営経費	1 デジタル関連事業に要する経費 教師用パソコン等の校内デジタル機器を更新する。 デジタル機器維持管理費等を行う。	81,193
		77,985
市立高校施設整備事業	1 施設整備に要する経費 教室棟普通教室空調設備を更新し、生徒の学習環境の向上を図る。	160,195
		156,605

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
学校安全担当の 設置及び研修の 実施 (回)	学校安全担当を設置し、 校内研修を実施 ※2025年度設置開始、 2026年度校内研修支援 開始	安全担当の設置は、学校管理 下における事故の防止に寄与 するものと見込んでいる。	目標値	-	設置	1	1	1	1
			実績値	-	設置				
			達成率	-	100%				
体験型交通安全 教室の実施 (回)	警察等と連携した体験 型交通安全教室の実施	体験型の交通安全教室は、登 下校中における交通事故の防 止に寄与するものと見込んでいる。	目標値	-	1	1	1	1	1
			実績値	1	1				
			達成率	-	100%				
			目標値						
			実績値						
			達成率						

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
学校管理下にお ける事故発生率 (%)	教育委員会調査におけ る学校管理下での事故 発生件数	安全・安心に学べる教育環境に 向け、学校管理下における事故 発生率を把握するものとして設 定。監視していくことにより学校 安全の推進に寄与するものと見 込んでいる。	目標値	-	前年比減	前年比減	前年比減	前年比減	前年比減
			実績値	7.6	2026年 8月確 定				
			達成率	-	-				
			目標値						
			実績値						
			達成率						

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
将来の夢や目標をもっている子供の割合(小学校6年生)(%)	○	全国学力・学習状況調査において肯定的な回答をした児童の割合	実績値	84.5	84.3					90.0
			達成率	94%	94%					
将来の夢や目標をもっている子供の割合(中学校3年生)(%)	○	全国学力・学習状況調査において肯定的な回答をした生徒の割合	実績値	69.1	71.8					74.0
			達成率	93%	97%					
今住んでいる地域(市町村)が好きな子供の割合(小学校6年生・中学校3年生・高校2年生)(%)	○	教育委員会調査において肯定的な回答をした児童生徒の割合	実績値	93.8	2026年 8月確定					維持
			達成率	100%	-					

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

・こどもたちは、自分らしさを大切に、描く夢や未来の実現に向けて、互いを尊重し合い、他者と協働したり、自己調整したりしながら粘り強く取り組んでいる。
・学校、家庭、地域、企業など社会全体が連携して一人ひとりのこどもを育み、こどもたちは地域への愛着や誇りを持っている。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
市立高校教育事業	1 学校安全の推進 学校安全に関する校内体制について、学校安全担当を設置した。 地域と連携した交通安全体制を整備については、地元自治会との交流の機会を増やし、地域との顔の見える関係性づくりを行った。	学校安全担当を中心に校内体制の整備と充実を図る。 地元自治会等との交流の機会を増やすなど、引き続き地域との良好な関係性を維持し、さらなる連携強化を図る。
市立高校管理デジタル運営経費	1 デジタル関連事業に要する経費 ICTの活用を推進するための教師用ノートパソコン(86台)及び校内ネットワーク機器等について、賃貸借契約期間の満了に伴い、機器の更新を実施した。 GIGAスクール構想の実現に向けたデジタル機器の維持管理等を適切に実施した。	GIGAスクール構想の実現に向け、引き続きデジタル機器の維持管理等を適切に実施するとともに、機器の更新時に合わせ、時代にあったデジタル機器等の検討を行う。
市立高校施設整備事業	1 施設整備に要する経費 教室棟普通教室(30室)の空調設備を更新し、生徒の学習環境の向上を図った。 直流電源装置は、推奨更新期間に合わせ更新を実施した。また、施設の保全のために必要な修繕工事等を行った。	未設置となっている特別教室や体育館への空調設備の設置の検討など、引き続き安心・安全な教育環境の整備を行う。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

事業及び指標の進捗は概ね順調であった。生徒が安心安全な学校生活を送ることができるよう、普通教室の空調設備等の更新を実施するとともに、緊急度の高いものを優先に修繕等を実施することができた。また、ICTの活用のためのデジタル機器等の更新についても適切に実施することができた。

今後は、老朽化している施設設備の状況の現状を把握し、早期に修繕等計画等の策定を行い、計画的な施設の改修や設備の更新を行う。また、校務のICT化、教職員の働き方改革のための意識改革の推進を図る。